

# Q 高速道路で事故・故障。 こんなとき、どうする？

## A 発炎筒で周囲に知らせる



高速道路において、交通事故や故障・パンク・燃料切れ等の緊急事態が発生した際、後続車に対して、前方に危険・障害物があることを知らせ、二次的 사고を防ぐために発炎筒を使用します。いざという時のために正しい発炎筒の使い方を理解するとともに、設置場所や有効期限を定期的に確認しておくことが大切です。

### 発炎筒の性能

有効期限

4年

※4年を過ぎた発炎筒は上手く点火しない恐れがある為交換しなければなりません。

燃焼時間

5分

視認距離

日中 600m以上  
夜間 2,000m以上

耐雨性

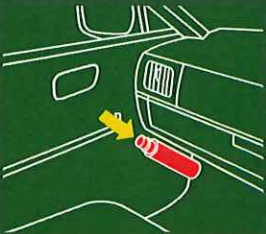
50  
mm/h(時)

耐風性

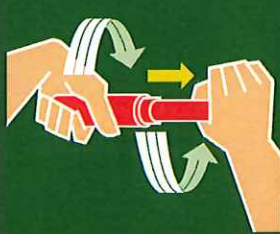
18  
m/sec(秒)

### 発炎筒の使い方

① 常にどこにあるか  
確かめておく



② キャップをひねりながら抜く



③ すり薬でこすり、点火する



④ すばやく道路に置き、  
安全な場所に避難



※停止表示器材を置き、ハザードランプを点滅させましょう

### 使用の際の注意点



引火の可能性があるため、ガソリンやオイルが漏れている時は使わない。



トンネル内では視界不良の恐れがあるため、使わない。

⚠ 事故時はドライバーが怪我等で動けない場合もあります。同乗者も緊急時の対応を心がけましょう。

発炎筒は高速道路での二次的 사고を防ぎます

生き延びるための…

# 高速道路における緊急時の3原則!

高速道路での軽い事故や故障で、やむを得ず車を止めた運転手や同乗者が後続車にはねられる事故が急増中!  
高速道路は普通の道路とは違います。改めて車を止める危険性を確認しましょう!

路上に

## 立たない!



路上で電話や、口論をしているところを後続車にはねられる事故が増えています。



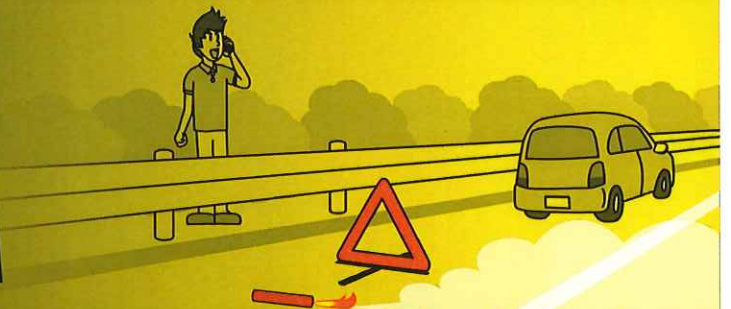
車内に

## 残らない!

車内は安全地帯ではありません。後続車に衝突され、命を落とすケースも少なくありません。

安全な場所に

## 避難する。



後続車に十分注意をしながら、速やかにガードレールの外側などの安全な場所に避難してください。

### 改めて確認しよう! 高速道路における緊急時の対処法



急ブレーキにならないように

ハザードランプを点灯させ路肩に停車



車内に残らず安全な場所に

後続車に十分注意して後方に

発炎筒、三角停止表示板等を後方に設置



車よりも後方にドライバーもガードレールの外に

ガードレールの外側など安全な場所に避難



通報は#9910か110番または非常電話へ

発生した故障・事故状況を通報



CHECK!

万が一の為に三角停止表示板や発炎筒の保管場所の有効期限を確認しておこう!

